

鹿児島県黒島沖の大陸斜面域から得られた底生魚類およびギンザメ科アカギンザメ *Hydrolagus mitsukurii* の記録

福井美乃¹・松沼瑞樹²・本村浩之³

¹ 〒 890-0065 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学総合研究博物館 (大学院水産学研究所)

² 〒 851-2213 長崎市以良町 1551-8 水産総合研究センター西海区水産研究所

³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

東シナ海の魚類相に関する研究は、沖縄舟状海盆とその周辺海域で採集された魚類を報告した岡村・北島 (1984) や琉球列島周辺の底生魚類を報告した Shinohara et al. (2005), 東シナ海全域と黄海でみられる主に水産有用種をあつかった山田ほか (2007) などがある。九州周辺については、古橋ほか (2010) が長崎県南西沖の東シナ海大陸棚斜面域から 60 科 127 種の底生魚類を記録したほか、小沢 (1983) が鹿児島県枕崎沖の水深 300-400 m から得られた 111 種の魚類を報告している。九州周辺海域の大陸棚斜面に生息する底生魚類の記録は少なく、とくに鹿児島県が位置する九州南西部周辺からの記録は、前述の小沢 (1983) に限られる。

2013 年 7 月に鹿児島県上三島の黒島沖 (Fig. 1), 水深 300-400 m からクダヒゲエビ類 (たかえび) を対象とした底曳網漁によって、18 科 23 種の底生魚類が採集された。このうち、ギンザメ科のアカギンザメ *Hydrolagus mitsukurii* (Jordan and Snyder, 1904) は東アジア周辺海域に分布し、日本では本州沿岸と東シナ海から知られ、東シナ海において

は沖縄舟状海盆および九州西部の大陸棚斜面域から記録されていた (中坊ほか, 2013)。鹿児島県において、本種は小沢 (1983) により枕崎沖から報告されているものの、その標本は現存していない。また、鹿児島県の軟骨魚類相を網羅的に調査した山下ほか (2012) は本種を記録していない。そこで、分布情報の蓄積を目的として、黒島沖から得られた底生魚類を報告するとともに、アカギンザメを標本に基づく鹿児島県からの初記録として、詳細に記載し報告する。

材料と方法

標本の計測は Didier (2002) にしたがいが、デジタルノギスを用いて 0.1 mm までの精度で計測した。生鮮時の体色の記載は、ホルマリン固定前に撮影された標本のカラー写真に基づく。色彩の表記は

Fukui, Y., M. Matsunuma and H. Motomura. 2015. A list of demersal fishes collected from off Kuro-shima island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan, with record of *Hydrolagus mitsukurii* (Chimaeriformes: Chimaeridae). *Nature of Kagoshima* 41: 177-186.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

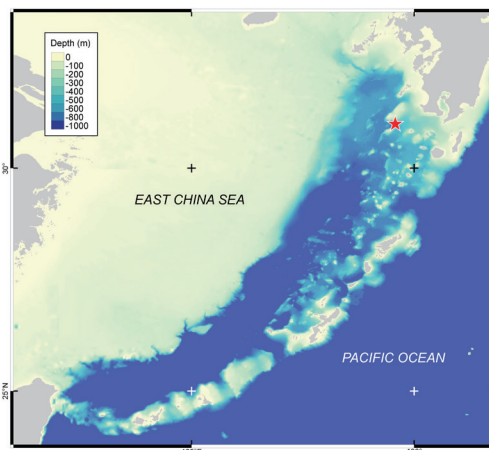


Fig. 1. Sampling locality (star) in the present study.



Fig. 2. Overall body (A) and head (B) of fresh specimen of *Hydrolagus mitsukurii* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55544, 296.7 mm TL.

財団法人色彩研究所（2001）の系統色名に準拠した。標本の作製は本村（2009）にしたがった。標準和名および学名は原則的に中坊（2013）にしたがった。リスト中の科の掲載順は中坊（2013）にしたがい、科内では各種をアルファベット順に掲載した。体長と SL は標準体長を、TL は全長を示す。本報告で用いた標本は、鹿児島大学総合研究博物館（KAUM）に保管されており、その採集データは下記のとおり。鹿児島県上三島黒島沖（30°59′26″N, 129°34′35″E）、水深 300–400 m、折田水産、底曳網、2013 年 7 月 16 日。Fig. 1 は Quantum GIS 2.2 (Quantum GIS Development Team 2014) を用いて作図した。

■ 結果と考察

Hydrolagus mitsukurii (Jordan and Snyder, 1904)
アカギンザメ (Fig. 2; Table 1)

標本 KAUM-I. 55544, 全長 296.7 mm.

記載 計測値と体長に対する割合を Table 1 に示した。体は長く、後方へ向かって著しく側偏する；尾鰭の糸状部は著しく長い。体高は低く、第一背鰭棘基部で最大。頭部は側面からみて上底の長い台形；頭部および軀幹部は正面から見て下方が膨らんだ楕円形。頭部感覚管はよく発達する (Fig. 2B)。体側部側線は、頭部後方から始まり、

胸鰭基部直上で一度上昇した後、緩やかに下降する；躯幹部前方ではごくわずかに波打つ；第二背鰭基底後端直下までの側線の溝は小柔毛状突起で覆われる。頭部は大きく、頭長は全長の31.6%；頭部背面の輪郭は眼の前方から下方へ向く。吻は前方にやや張り出す；吻端はひじょうに柔軟。鼻口溝は大きく、内側の皮弁が露出する；両鼻口溝の間隔はひじょうに狭い。鰓孔は小さく、下方に開く。眼は大きく、横長の楕円形；眼径は頭長の46.8%。口はひじょうに小さく下方につく；口裂の後端は眼窩前端の直下に位置する；唇皺の切れ込みは深い；歯は両顎ともに癒合し、口を閉じたとき露出する；歯の内側一面には微小な突起が密に並び、その突起は下方につれて小さくなる。各鰭の先端は柔らかく、よく尖る。第一背鰭基部は胸鰭基部前端の直上に位置する；第一背鰭棘の後縁は鋸歯状；下方の鋸歯状の棘は比較的柔らかい；第一背鰭緑鰭膜の縁辺は細く切れ込む。第二背鰭基部は第一背鰭基底後端とよく隣接し、その間隔

は躯幹長の1.9%。第二背鰭と背側尾鰭基底は密接する。臀鰭はない。胸鰭はひじょうに大きく、起点は第一背鰭棘直下にある；胸鰭長は躯幹長の32.7%；たたんだ胸鰭後端は総排泄孔を超える。腹鰭は大きく、その基部は第二背鰭基部より後方に位置する；腹鰭後端は鋭角に尖る；腹鰭長は躯幹長の19.4%。

色彩 生鮮時の色彩 — 頭部側面は銀色 (Fig. 2)。躯幹部体側は明るいグレイ。躯幹部後方から尾鰭後端にかけて灰みの白。体の背縁は薄い黒色。第一背鰭棘は半透明で前面は暗いグレイ。第一背鰭鰭膜は暗いグレイで、先端にかけて明るいグレイから半透明になる。第二背鰭は暗いグレイ、基部と背鰭縁辺は灰みの白。胸鰭は紫みのグレイ、基部と先端は灰みの白。腹鰭は胸鰭と同様。

ホルマリン固定後の色彩 — 体は黄みの白で、背部は暗いブラウンみのグレイ。体側中央前方、たたんだ胸鰭の縁辺に接する部分に、輪郭が不明瞭な黒色縦帯がある。腹部は暗いグレイ。第一背

Table 1. Morphometrics, expressed as percentages of body length, of *Hydrolagus mitsukurii* collected off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan.

| Codes used in Didier (2002) | Measurements | KAUM-I. 55544 | |
|-----------------------------|---|---------------|--------|
| | | (mm) | (%BDL) |
| TL | Total length | 296.7 | 232.0 |
| BDL | Body length | 127.9 | — |
| PCL | Pre-caudal-fin length | 158.9 | 124.2 |
| SVL | Snout-vent length | 75.8 | 59.3 |
| TRL | Trunk length | 43.5 | 34.0 |
| PD2 | Pre-second-dorsal-fin length | 64.1 | 50.1 |
| POB | Preorbital length | 10.4 | 8.1 |
| D2B | Second dorsal-fin base length | 95.5 | 74.7 |
| D2AH | Anterior second dorsal-fin height | 3.3 | 2.6 |
| D2PH | Posterior second dorsal-fin height | 3.5 | 2.7 |
| D1B | First dorsal-fin base length | 26.5 | 20.7 |
| DSA | Dorsal-spine length | 25.4 | 19.9 |
| D1H | First dorsal-fin height | 21.7 | 17.0 |
| CDM | Caudal dorsal margin length | 2.8 | 2.2 |
| CDH | Dorsal caudal-fin height | 2.7 | 2.1 |
| HDL | Head length | 40.4 | 31.6 |
| P1A | Pectoral-fin anterior margin length | 42.8 | 33.5 |
| P2A | Pelvic-fin anterior margin length | 21.1 | 16.7 |
| IDS | Interdorsal space length | 11.3 | 8.8 |
| PPS | Posterior base of pectoral fin to anterior base of pelvic fin | 33.0 | 25.8 |
| D1P1 | Anterior edge of first dorsal-fin base to anterior edge of pectoral-fin base | 21.6 | 16.9 |
| D1P2 | Anterior edge of first dorsal-fin base to anterior edge of pelvic-fin base | 41.5 | 32.4 |
| D2P1 | Anterior edge of second dorsal-fin base to anterior edge of pectoral-fin base | 35.5 | 27.8 |
| D2P2 | Anterior edge of second dorsal-fin base to anterior edge of pelvic-fin base | 20.2 | 15.8 |
| EYL | Eye length | 18.9 | 14.8 |
| EYH | Eye height | 7.3 | 5.7 |

鱗棘は半透明，その前面は暗いグレイ．第一背鰭基部は暗いグレイ，先端は明るいグレイで縁辺へむかうにつれて半透明になる．第二背鰭は暗いグレイ，基部と先端は灰みの白．胸鰭基部は紫みのグレイ，胸鰭基部は灰みの白，縁辺は暗いブラウンみのグレイ．胸鰭内側は一樣に暗いグレイ，基底から半円状に黒色帯，半円の外側は幅狭の黄みの白の輪郭が不明瞭な帯が広がる．腹鰭も胸鰭と同様であるが，半円状黒色帯はない．

分布 本種は，日本，朝鮮半島南部，台湾南部，およびフィリピン諸島ルソン島など東アジア周辺海域に分布する (Compagno et al., 2005; 中坊ほか, 2013)．日本において，本種は北海道南部，新潟県，千葉県から土佐湾までの本州・四国の太平洋沿岸，および九州南西沖から石垣島沖に至る東シナ海の大陸棚斜面に分布し，水深 300–980 m から記録されている (小沢, 1983; Shinohara et al., 2005; 古橋ほか, 2010; 本研究)．

備考 調査標本は，臀鰭を欠くこと，頭部背縁が目前方で下方を向くこと，側線上方に破線状横帯がないこと，第一背鰭棘後縁が鋸歯状であること，尾鰭の糸状部が著しく伸長することなどの特徴をもち，Jordan and Snyder (1904) や中坊ほか (2013) が示したアカギンザメ *Hydrolagus mitsukurii* の特徴とよく一致したため，本種に同定された．

山田ほか (2013) は，本種の漁獲水深を 515–980 m としているが，本種は古橋ほか (2010) により長崎南西部の水深 414–508 m から，Shinohara et al. (2005) により九州南西部沖陸棚斜面の水深 499–500 m から記録されている．また，小沢 (1983) は枕崎沖の水深 300–400 m から本種を記録しており，九州沿岸の大陸棚斜面域では 400 m 以浅からも漁獲されることがわかる．

本種は 50 cm ほどまで成長すると考えられているが (中坊ほか, 2013)，本研究で得られた個体は全長 296.7 mm と若魚であった．本種の年齢と成長の関係，分布や生態には不明な点が多いため (山田ほか, 2007)，今後も標本に基づく採集記録を蓄積する必要があるだろう．

■ 黒島沖陸棚斜面域から得られた魚類

本研究において，鹿児島県上三島黒島沖の水深 300–400 m から 18 科 23 種の魚類が記録された．本目録では，各種の備考に鹿児島県九州本土周辺の東シナ海陸棚斜面域からの記録を示した．大陸棚斜面における魚類群衆構造は水深によって明確に区分されることが知られており (堀川・通山, 1985; 後藤, 2000, 2003 など)，鹿児島県周辺海域の底生魚類相を解明するには，様々な地域での幅広い水深帯での調査が必要である．

CHIMAERIDAE ギンザメ科

Hydrolagus mitsukurii (Jordan and Snyder, 1904)

アカギンザメ (Fig. 2)

前項を参照．

ETMOPTERIDAE カラスザメ科

Etmopterus molleri (Whitley, 1939)

ヒレタカフジクジラ (Fig. 3)

標本 KAUM-I. 55542, 全長 283.9 mm; KAUM-I. 55543, 全長 180.0 mm.



Fig. 3. Overall body (A) and head (B) of fresh specimen of *Etmopterus molleri* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55542, 283.9 mm TL.

PTEROTHRISSIDAE ギス科

Pterothrissus gissu Hilgendorf, 1877

ギス (Fig. 4)

標本 KAUM-I. 55546, 体長 291.7 mm; KAUM-I. 55769, 体長 373.0 mm.

備考 小沢 (1983) は本種を枕崎沖から記録した．



Fig. 4. Fresh specimen of *Pterothrissus gissu* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55546, 291.7 mm SL.

ARGENTINIDAE ニギス科

Argentina kagoshimae Jordan and Snyder, 1902

カゴシマニギス (Fig. 5)

標本 KAUM-I. 55537, 体長 167.7 mm ; KAUM-I. 55771, 体長 152.3 mm ; KAUM-I. 55773, 体長 177.4 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 5. Fresh specimen of *Argentina kagoshimae* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. A, KAUM-I. 55537, 167.7 mm SL; B, KAUM-I. 55773, 177.4 mm SL.

CHLOROPHTHALMIDAE アオメエソ科

Chlorophthalmus albatrossis Jordan and Starks, 1904

アオメエソ (Fig. 6)

標本 KAUM-I. 55539, 体長 150.0 mm ; KAUM-I. 55540, 体長 148.6 mm ; KAUM-I. 55541, 体長 140.8 mm ; KAUM-I. 55725, 体長 140.1 mm ; KAUM-I. 55726, 体長 135.6 mm ; KAUM-I. 55727, 体長 129.7 mm ; KAUM-I. 55728, 体長 156.8 mm ; KAUM-I. 55729, 体長 133.8 mm ; KAUM-I. 55745, 体長 136.8 mm ; KAUM-I. 55746, 体長 137.2 mm ; KAUM-I. 55747, 体長 142.4 mm ; KAUM-I. 55760, 体長 140.7 mm ;

KAUM-I. 55761, 体長 140.5 mm ; KAUM-I. 55762, 体長 147.3 mm ; KAUM-I. 55770, 体長 118.6 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 6. Fresh specimen of *Chlorophthalmus albatrossis* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55541, 140.8 mm SL.

POLYMIXIIDAE ギンメダイ科

Polymixia japonica Günther, 1877

ギンメダイ (Fig. 7)

標本 KAUM-I. 55545, 体長 167.0 mm ; KAUM-I. 55717, 体長 165.7 mm ; KAUM-I. 55718, 体長 174.0 mm ; KAUM-I. 55723, 体長 149.8 mm ; KAUM-I. 55749, 体長 167.9 mm ; KAUM-I. 55767, 体長 172.1 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 7. Fresh specimen of *Polymixia japonica* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55545, 167.0 mm SL.

MORIDAE チゴダラ科

Physiculus japonicus Hilgendorf, 1879

チゴダラ (Fig. 8)

標本 KAUM-I. 55550, 体長 156.4 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 8. Preserved specimen of *Physiculus japonicus* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55550, 156.4 mm SL.

MACROURINAE ソコダラ科

Coelorinchus anatrostris Jordan and Gilbert, 1904

ネズミヒゲ (Fig. 9)

標本 KAUM-I. 55531, 全長 348.1 mm ; KAUM-I. 55752, 全長 315.1 mm ; KAUM-I. 55753, 全長 281.8 mm ; KAUM-I. 55775, 全長 280.5+ mm ; KAUM-I. 55779, 全長 191.8+ mm ; KAUM-I. 55780, 全長 200.4+ mm ; KAUM-I. 55781, 全長 233.3+ mm ; KAUM-I. 55782, 全長 228.8+ mm ; KAUM-I. 55783, 全長 290.0+ mm ; KAUM-I. 55784, 全長 331.7 mm ; KAUM-I. 55785, 全長 248.0 mm ; KAUM-I. 55786, 全長 296.5+ mm ; KAUM-I. 55787, 全長 279.0+ mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 9. Fresh specimen of *Coelorinchus anatrostris* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55531, 348.1 mm TL.

Coelorinchus hubbsi Matsubara, 1936

モヨウヒゲ (Fig. 10)

標本 KAUM-I. 55532, 全長 230.2+ mm ; KAUM-I. 55534, 全長 250.0+ mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 10. Fresh specimen of *Coelorinchus hubbsi* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55532, 230.2+ mm TL.

Coelorinchus kamoharai Matsubara, 1943

イチモンジヒゲ (Fig. 11)

標本 KAUM-I. 55533, 全長 270.5 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 11. Fresh specimen of *Coelorinchus kamoharai* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55533, 270.5 mm TL.

Ventrifossa garmani (Jordan and Gilbert, 1904)

サガミソコダラ (Fig. 12)

標本 KAUM-I. 55535, 全長 195.5+ mm ; KAUM-I. 55536, 全長 185.2+ mm ; KAUM-I. 55763, 全長 190.5+ mm ; KAUM-I. 55764, 全長 228.5+ mm ; KAUM-I. 55778, 全長 215.5+ mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 12. Fresh specimen of *Ventrifossa garmani* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55535, 195.5+ mm TL.

CHAUNACIDAE フサアンコウ科

Chaunax tosaensis Okamura and Oryuu, 1984

ハナグロフサアンコウ (Fig. 13)

標本 KAUM-I. 55554, 体長 251.3 mm ; KAUM-I. 55555, 体長 148.3 mm ; KAUM-I. 55754, 体長 203.5 mm ; KAUM-I. 55759, 体長 144.5 mm ; KAUM-I. 55788, 体長 162.0 mm.

備考 Caruso (1989) は, 根拠を示さずに *C. tosaensis* が *Chaunax penicillatus* McCulloch, 1915 の新参異名である可能性を指摘した. その後, Ho et al. (2013) は, 形態・遺伝的比較の結果, 両名義種のシノニム関係を確認したと述べたが, その詳細は未発表であり, やはり具体的根拠は示されていない.

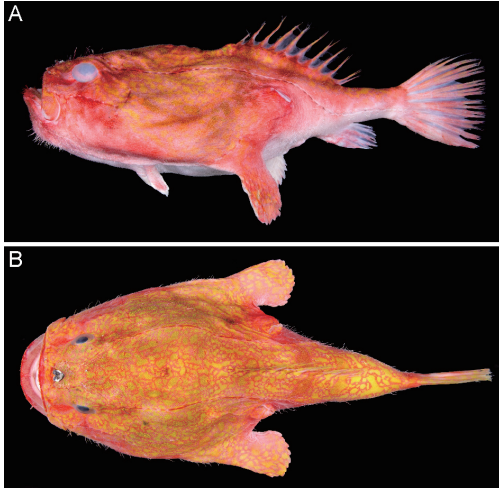


Fig. 13. Lateral (A) and dorsal (B) views of fresh specimen of *Chaunax tosaensis* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. A, KAUM-I. 55754, 203.5 mm SL; B, KAUM-I. 55554, 251.3 mm SL.

BERYCIDAE キンメダイ科

Beryx mollis Abe, 1959

フウセンキンメ (Fig. 14)

標本 KAUM-I. 55559, 体長 123.6 mm; KAUM-I. 55748, 体長 117.0 mm.



Fig. 14. Fresh specimen of *Beryx mollis* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55559, 123.6 mm SL.

SEBASTIDAE メバル科

Helicolenus hilgendorfi (Döderlein, 1884)

ユメカサゴ (Fig. 15)

標本 KAUM-I. 55547, 体長 169.1 mm; KAUM-I. 55719, 体長 122.4 mm; KAUM-I. 55743, 体長 150.6 mm; KAUM-I. 55744, 体長 148.3 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 15. Fresh specimen of *Helicolenus hilgendorfi* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55547, 169.1 mm SL.

SCORPAENIDAE フサカサゴ科

Setarches longimanus (Alcock, 1894)

アカカサゴ (Fig. 16)

標本 KAUM-I. 55548, 体長 170.7 mm; KAUM-I. 55720, 体長 125.8 mm; KAUM-I. 55721, 体長 111.1 mm; KAUM-I. 55722, 体長 109.8 mm; KAUM-I. 55740, 体長 151.7 mm; KAUM-I. 55741, 体長 127.8 mm; KAUM-I. 55742, 体長 94.9 mm; KAUM-I. 55755, 体長 117.3 mm; KAUM-I. 55756, 体長 116.9 mm; KAUM-I. 55757, 体長 104.0 mm; KAUM-I. 55758, 体長 142.7 mm; KAUM-I. 55768, 体長 128.0 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 16. Fresh specimen of *Setarches longimanus* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55548, 170.7 mm SL.

PERISTEDIIDAE キホウボウ科

Peristedion orientale Temminck and Schlegel, 1843

キホウボウ (Fig. 17)

標本 KAUM-I. 55556, 体長 115.0 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 17. Preserved specimen of *Peristedion orientale* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55556, 115.0 mm SL.

Scalicus amiscus (Jordan and Starks, 1904)

ヒゲキホウボウ (Fig. 18)

標本 KAUM-I. 55551, 体長 172.9 mm ; KAUM-I. 55552, 体長 161.0 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した.



Fig. 18. Preserved specimen of *Scalicus amiscus* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55551, 172.9 mm SL.

HOPLICHTHYIDAE ハリゴチ科

Hoplichthys gilberti Jordan and Richardson, 1908

ソコハリゴチ (Fig. 19)

標本 KAUM-I. 55549, 体長 275.0 mm.

備考 小沢(1983)はハリゴチ *Hoplichthys regani* Jordan, 1908 を枕崎沖から記録した. *Hoplichthys regani* の分類学的再検討を行った Nagano et al. (2012)によれば, 本種の標本は鹿児島湾から得られたホロタイプしか確認されていない. 小沢(1983)が用いた標本は現存せず同定を確認することはできないが, 彼のハリゴチはソコハリゴチなどハリゴチ科他種の誤同定である可能性がある.



Fig. 19. Fresh specimen of *Hoplichthys gilberti* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55549, 275.0 mm SL.

ACROPOMATIDAE ホタルジャコ科

Malakichthys elegans Matsubara and Yamaguti, 1943

ナガオオメハタ (Fig. 20)

標本 KAUM-I. 55530, 体長 124.4 mm ; KAUM-I. 55750, 体長 116.1 mm ; KAUM-I. 55751, 体長 125.3 mm ; KAUM-I. 55772, 体長 121.9 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した.



Fig. 20. Fresh specimen of *Malakichthys elegans* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55530, 124.4 mm SL.

Synagrops japonicus (Döderlein, 1883)

スミクイウオ (Fig. 21)

標本 KAUM-I. 55538, 体長 161.7 mm ; KAUM-I. 55774, 体長 156.5 mm.

備考 小沢(1983)は本種を枕崎沖から記録した.



Fig. 21. Fresh specimen of *Synagrops japonicus* off Kuroshima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55538, 161.7 mm SL.

NOMEIDAE エボシダイ科

Cubiceps squamiceps (Lloyd, 1909)

ボウズコンニャク (Fig. 22)

標本 KAUM-I. 55558, 体長 174.2 mm ; KAUM-I. 55724, 体長 156.0 mm ; KAUM-I. 55766, 体長 152.0 mm.

備考 小沢 (1983) は本種を枕崎沖から記録した。Last (2001) は根拠を示さず、*C. squamiceps* を *Psenes whiteleggii* Waite, 1894 の新参異名とした。その後、Parin and Piotrovsky (2004) も同じ見解を示したが、やはり具体的な根拠は述べられていない。



Fig. 22. Fresh specimen of *Cubiceps squamiceps* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55558, 174.2 mm SL.

PSYCHROLUTIDAE ウラナイカジカ科

Ebinania brephocephala (Jordan and Starks, 1903)

ボウズカジカ (Fig. 23)

標本 KAUM-I. 55557, 体長 85.3 mm.

備考 本種は鹿児島県において、小沢 (1983) により枕崎沖、目黒・本村 (2011) により南さつま市野間池沖のともに水深 300–400 m から記録された。

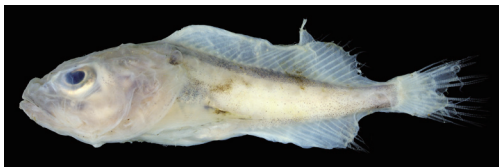


Fig. 23. Fresh specimen of *Ebinania brephocephala* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55557, 85.3 mm SL.

BOTHIDAE ダルマガレイ科

Chascanopsetta lugubris lugubris Alcock, 1894

ザラガレイ (Fig. 24)

標本 KAUM-I. 55553, 体長 187.8 mm.

備考 小沢 (1983) は本種を枕崎沖から記録した。



Fig. 24. Fresh specimen of *Chascanopsetta lugubris lugubris* off Kuro-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan. KAUM-I. 55553, 187.8 mm SL.

■ 謝辞

標本の採集に際しては、折田水産の折田 正氏をはじめとする折田水産のみなさまに多大なご協力を頂いた。ソコダラ科魚類の同定について、高知大学の中山直英氏にご協力を頂いた。また、本報告を取りまとめるにあたり、標本の作製、登録について鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室同研究の学生諸氏、並びに原口百合子氏をはじめとする鹿児島大学総合研究博物館ボランティアのみなさまにご協力いただいた。謹んで感謝の意を表す。本研究は、鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部はJSPS 科 研 費 (19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS アジア研究教育拠点事業「東南アジアにおける沿岸海洋学の研究教育ネットワーク構築」、総合地球環境学研究所「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上プロジェクト」、国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」、文部科学省特別経費—地域貢献機能の充実—「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点形成」、および鹿児島大学重点領域研究環境 (生物多様性プロジェクト) 学長裁量経費「奄美群島における生態系保全研究の推進」の援助を受けた。

■ 引用文献

Caruso, J. H. 1989. Systematics and distribution of Atlantic chaunacid anglerfishes (Pisces: Lophiiformes). *Copeia*, 1989 (1): 153–165.

- Compagno, L. J. V., P. R. Last, J. D. Stevens and M. N. R. Alava. 2005. Checklist of Philippine chondrichthyes. CSIRO Mar. Lab. Rep., (243): 1–103.
- Didier, D. A. 2002. Two new species of chimaeroid fishes from the southwestern Pacific Ocean (Holocephali, Chimaeridae). Ichthyol. Res., 49 (4): 299–306.
- 古橋直樹・椿 賢太・森井康広・橋本 惇. 2010. 長崎南西方大陸斜面域の底生魚類群集. 長崎大学水産学部研究報告, (91): 17–33.
- 後藤友明. 2000. 岩手県沖合における底生性魚類相. 岩手県水産技術センター研究報告書, (2): 1–13.
- 後藤友明. 2003. 岩手県沖合における底生性魚類相群集構造. 岩手県水産技術センター研究報告書, (3): 1–8.
- Ho, H.-C., C. D. Roberts and A. L. Stewart. 2013. A review of the anglerfish genus *Chaunax* (Lophiiformes: Chaunacidae) from New Zealand and adjacent waters, with descriptions of four new species. Zootaxa, 3620 (1): 89–111.
- 本間義治. 1952. 新潟縣魚類目録. 魚類学雑誌, 2 (3): 138–145.
- 堀川博史・通山正弘. 1985. 土佐湾の大陸棚および大陸斜面域における底生魚類相の水深別区分. 日本水産学会誌, 51 (8): 1275–1280.
- Jordan, D. S. and J. O. Snyder. 1904. On the species of white chimaera from Japan. Proc. U. S. Nat. Mus., 27: 223–226.
- Last, P. R. 2001. Nomeidae. Pages 3771–3779 in K. E. Carpenter and V. H. Niem. eds. Species identification guide for fishery purpose. The living marine resources of the western central Pacific, vol.6. Bony fishes part 4 (Labridae to Latimeriidae), estuarine crocodiles, sea turtles, sea snakes and marine mammals. FAO, Rome.
- 目黒昌利・本村浩之. 2011. 鹿児島県野間池沖から得られたボウズカジカ *Ebinania brephocephala* (カサゴ目: ウラナイカジカ科) の記録. Nature of Kagoshima, 37: 27–29.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp. (<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html>)
- Nagano, Y., H. Imamura and M. Yabe. 2012. Taxonomic status of *Hoplichthys regani* Jordan 1908 (Scorpaeniformes: Hoplichthyidae), with comments on its authorship. Ichthyological Research, 59 (3): 255–263.
- 中坊徹次 (編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1+2428 pp.
- 中坊徹次・柳下直己・山口敦子. 2013. ギンザメ科 Chimaeridae. Pp. 146–147, 1755. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 岡村 収・北島忠弘 (編). 1984. 沖縄舟状海盆及び周辺海域の魚類 I・II. 社団法人日本水産資源保護協会, 東京. 781 pp.
- 小沢貴和. 1983. 枕崎沖陸棚斜面底魚の研究 1. 水産海洋研究会報, (44): 9–16.
- Parin, N. V. and A. S. Piotrovsky. 2004. Stromateoid fishes (suborder Stromateoidei) of the Indian Ocean (species composition, distribution, biology, and fisheries). J. Ichthyol., 44 (Suppl. 1): S33–S62.
- Quantum GIS Development Team. 2014. Quantum GIS Geographic Information System. Open Source Geospatial Foundation Project. <http://www.qgis.org/>. Accessed 11 June 2014.
- Shinohara, G., T. Sato, Y. Aonuma, H. Horikawa, K. Matsuura, T. Nakabo and K. Sato. 2005. Annotated checklist of deep-sea fishes from the waters around Ryukyu Islands, Japan. Nat. Sci. Mus. Monogr., (29): 385–452.
- 山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次. 2007. 東シナ海・黄海の魚類誌. 東海大学出版会, 東京. lxxiv + 1263 pp.
- 山下真弘・吉田朋弘・本村浩之. 2012. 鹿児島県産軟骨魚類目録. Nature of Kagoshima, 38: 119–138.
- 財団法人日本色彩研究所 (監). 2001. 改訂版色名小事典. 日本色研事業株式会社, 東京. 92 pp.